

図書館だより

6月号

6月の読書目標

戦争と平和について
考えよう

平成28年6月8日

久米島西中学校図書室

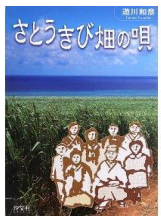
今年も6月23日の慰霊の日が近づいてきました。たくさんの尊い命が犠牲となった沖縄戦が終わってから71年目の慰霊の日となります。しかし、71年経った今でも世界では暴力・戦争といった悲しい行為が後をたちません。慰霊の日を前に、西中学校では6月10日（金）～24日（金）まで平和旬間を行います。旬間中は、沖縄戦・久米島事件・対馬丸の資料の展示や基地問題の新聞記事等の掲示を行っています。今月は平和旬間を通して、みなさんと戦争と平和について考えてみましょう！

6月23日「慰霊の日」は、沖縄の人にとって大切な1日です。

慰霊の日とは、鉄の暴風とまで言われた沖縄戦が終わった日です。

沖縄戦で尊い命を失った人々の霊をなくさめながら、人々が殺し合う悲しい戦争を2度とおこすことのない平和な世の中を築いていこうという確認の日です。

戦争・久米島に関する本



さとうきび畑の唄
遊川和彦

昭和十六年、沖縄。写真館を営む平山幸一夫婦と五人の兄弟の家族は楽しく幸せに暮らしていた。しかし、十二月八日真珠湾攻撃を境に家族はバラバラに。



私のひめゆり戦記
宮内ルリ

アメリカ軍が沖縄本島へ上陸し、こうげきを始めるようになって、まだ十七、十八歳の女学生さえも、ひめゆり学徒として戦場にかりだされました。ひめゆり学徒は、砲弾が飛び交う中を水くみに行ったり、壕の中で傷ついた兵隊の治療で一時間も休むことなく働き続けていたのです。



私たちの教室からは
基地が見えぬ
渡辺豪

「世界でもっとも危ない基地」と隣り合わせの小学校で、子ども達は、切実な思いを文集「そてつ」に綴った。大人になった今、彼らは何を思うのだろうか？



かんからさんしん
物語
嶋津与志

昭和二十年四月：太平洋戦争末期、アメリカ軍は圧倒的な軍力で沖縄本島に上陸します。この物語は小学四年生の少年の目を通してみた沖縄戦、日本軍の壊滅と日本国で唯一地上戦に巻き込まれた沖縄の人たちの物語です。



久米島女教師
上江洲トシ

日本軍による久米島住民の連続虐殺事件で九死に一生を得た著者が、虐殺の全貌を明らかにしつつ戦争を告発し、教師として戦前の皇民化教育を担った反省に立ち、反戦平和を訴える。



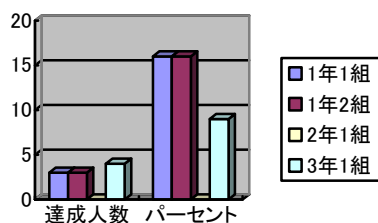
久米島の戦争
久米島の戦争を
記録する会

太平洋戦争末期、沖縄戦での久米島での様子をまとめた証言記録集。沖縄戦時、旧日本軍陸軍中野学校より送り込まれた残置諜報員の本名が初めて明らかに注目された書籍。

5月の貸出状況

年間読書冊数目標50冊

年組	達成人数	パーセント
1年1組	3	16
1年2組	3	16
2年1組	0	0
3年1組	4	9



年間目標冊数（50冊）達成者が出ました!!

1-1 平田来々聖 1-1 伊地帆香 1-1 田端ななみ
1-2 仲村航 1-1 古賀恵太
3-2 仲本翔 3-2 塚越悠太

毎月4～5冊借りることで達成できます。
3月までに全生徒が達成できるように頑張りましょう

BestBook

蒼空/春瀬 るき/著
涙想い/善生 菜由佳/著
また、明日 / あちゃみ /著
ムーの都市伝説/並木 伸一郎/著
超常 UFO 宇宙人事件/並木 伸一郎/著

BestReader

1位 平田来々聖 (38冊) 2位 伊地帆香 (35冊)
3位 仲本翔 (33冊) 4位 塚越悠太 (31冊)

